

令和8年度 千代田区立九段中等教育学校の適性検査問題の出題の基本方針等

1 出題の基本方針

- (1) 小学校の教育課程に基づく日常の学習活動の成果や中高一貫教育において学ぶ意欲、適性を検査することを基本とする。
- (2) 出題の内容は、教科横断的な力や課題発見・解決能力などをみるものとする。
- (3) 出題に当たっては、九段中等教育学校の特色や育てたい生徒像に照らし、6年間の学習活動への適応力や創造力などをみることができるようにする。

2 適性検査問題の出題の方針、問題の構成及び主なねらい

出題の基本方針を踏まえ、以下のとおり適性検査1、適性検査2及び適性検査3を実施する。

適性検査1（45分）

- (1) 出題の方針
文章の内容を的確に読み取ったり、自分の考えを論理的かつ適切に表現したりする力をみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を2問とし、小問7問で構成する。
 - ・ 文章の内容を的確に捉えたうえで、読み取ったことを踏まえて自分の考えを文章でまとめ、表現する力をみる。

適性検査2（45分）

- (1) 出題の方針
資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を3問とし、小問10問で構成する。
 - ・ さまざまな題材に対して、資料を正確に読み取り、分析、考察する力をみる。
 - ・ 問題解決のため、数理的に考察、処理し、図や文章で的確に表現する力をみる。

適性検査3（45分）

- (1) 出題の方針
身近な事象を通して、分析力や思考力、判断力を生かして、課題を総合的に解決する力をみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を3問とし、小問9問で構成する。
 - ・ これまでに身に付けてきた知識や経験を基にして、課題を解決する力をみる。
 - ・ 身近にある事象について、論理的、数理的に分析し判断する力など、総合的な思考力をみる。